

第6学年 外国語科学習指導案

日時 令和4年5月25日(水) 11:15～12:00
児童 6年1組 32名
場所 白鳥ホール
指導者 伊藤 万里

1 単元名 Where do you want to go? ツアープランナーになろう (Junior Sunshine 6 Lesson 3)

2 主な言語材料

(1) 基本文

Where do you want to go? I want to go to ~.
Why? I want to [see / eat] ~.
You can see [eat] ~.
Welcome to ~. Excuse me. No problem. I see. You are welcome.

(2) 語句

国名(The U.S.A., Australia, Brazil, China, Egypt, France, Germany, India, Italy, Japan, Korea, Switzerland, The UK, etc)
[既出] 国名、世界遺産、世界の名所、世界の有名な食べ物

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、児童が広く世界に目を向け、「行きたい国やその理由」について尋ねたり答えたりする言い方に慣れ親しみ、おすすめの国を紹介し、交流することを目標としている。

「ツアープランナーになって、おすすめの国とその理由を紹介しよう」という設定の下、国名・国旗・世界遺産や各国の食べ物を題材とした活動を通して、世界の国々の特色やよさに気付くことができる単元である。また、5・6年生の社会科と関連付けて横断的に学習しながら、世界への広い視野を養うことができる内容となっている。

児童が主体的にコミュニケーションを図り、行きたい国やその理由の尋ね方や答え方に親しんだり、国名の書き方を体験的に習得したりする上で適した教材と考える。

(2) 児童について

児童はこれまで、毎時間の Pair's Greeting(授業の始めに行われる児童同士のあいさつ、やり取り)や、Lesson 1 「We are friends.」及び Lesson 2 「What time do you get up?」の単元での学習を通して、知りたい事柄について尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんできている。昨年度は仲の良い友達としか会話ができず、不特定の相手とペアを作った活動も難しかったが、6年生になってからは、言語活動の中で分からないところを友だちに質問したり、互いに教え合ったりすることの良さに繰り返し触れながら、自分から話しかけたり、会話を楽しんだりすることが少しずつできるようになってきた。一方で、未だにコミュニケーション活動に対し苦手意識を持ち、なかなか活動に加われないでいる児童もいる。また、会話の中で、相手の伝えたいことを正確に聞き取ったり、適切に反応したりすることが苦手な児童もいる。

読む活動については、5年生からアルファベットの大文字、小文字の読みに取り組んできたので、だいぶ慣れ親しんできている。しかし、Lesson 2 での、「単語のはじめの音を聞き取り、単語を識別する」活動では、聞き分けることへの困難さも見られ、「音と小文字を関連付ける」という文字を読むための基礎的な力は十分とは言えない。

書く活動についても5年生から継続して取り組んでおり、Lesson 2 の「小文字を選んで 4

線上に正しく書き写し、単語を完成させる」活動でも、積極的に取り組む様子が見られた。しかし、「形」「位置」「まとまり」に気をつけることに対して、まだ正確性に欠ける児童も多く、継続した指導が必要と考える。

(3) 指導にあたって

本単元の最終活動は「おすすめのツアープラン」を紹介することである。その活動に向けて、次のように学習を展開していく。

「出会う」段階では、最終目標を提示し、児童に単元全体の見通しをもたせる。世界地図や国旗にふれながら、世界遺産、世界の料理などについて視聴する活動を通して、世界の国々への知識を広めるとともに、興味・関心をもたせたい。また、行きたい国を尋ねたり答えたりする表現と、世界や地域の「特色あるもの」を説明するための形容詞に出会わせる。さらに、小文字や国名を書く活動を取り入れ、自分が行きたい国を書くことができるようにしていく。

「慣れる」段階では、行きたい国とその理由について伝えるために、「want to～」の表現に慣れ親しむ活動を取り入れる。ペアを替えながら繰り返し活動することで、いろいろな考え方に触れることができ、交流する楽しさや伝え合う良さを実感しながら学習に取り組んでいけるものとする。また、「eat～」、「see～」の表現について段階的に慣れ親しませる。さらに、You を主語にして、その国では「こんなことができる」ということを勧める表現「can」にも親しむようにし、会話のバリエーションを広げていきたい。

「伝える」段階では、「おすすめのツアープラン」の紹介を最終活動として行う。そのため、それまでの活動を通して、「can～」や「want to～」の表現を繰り返し耳にし、自分の発表の中で使えるようにしていく。また、単元全体を通して学んだ表現を使いながら、相手意識をもって、自分が行きたい国や地域について説明したり、その場所の情報を整理して伝え合ったりする活動を取り入れ、交流する楽しさを味わわせる。「おすすめのツアープラン」の紹介を通して、世界の国々への知識や関心を広めるとともに、友達の新たな一面の発見にもつながるようにしたい。

自己有用感を高めるための手立てとして、単元全体を通してペア学習でのやり取りを取り入れることにより、児童が「存在感」を感じられるようにしていく。また、行きたい国を尋ねたり答えたりする活動や「おすすめのツアープラン」を紹介する活動を通して、よかった点や課題を伝え合う中で「貢献」「承認」を味わえるようにする。さらに、振り返りを通して友達の活動のよさを児童や教師が紹介することで「承認」される喜びを味わわせながら、児童の自己有用感の向上を図る。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ・行きたい国とその理由について、尋ねたり答えたりする言い方を理解し、おすすめの国について話すことができる。また、例を参考にしながら国名を書き写すことができる。

【知識及び技能】

- ・自分のおすすめの国のよさを友だちによく知ってもらうために、おすすめのツアープランを考えて、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・自分のおすすめの国のよさを友だちによく知ってもらうために、おすすめのツアープランを考えて、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとする。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 単元の評価規準と評価方法

| 観 点 | 内 容 「話すこと(発表)」「書くこと」 | 方 法 |
|---------------|--|---------------------------------------|
| 知識・技能 | <p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国名や、Where do you want to go? I want to go [see/eat]～. You can see[eat] ～.など、行きたい国とその理由について、尋ねたり答えたりする言い方について理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行きたい国とその理由について、I want to go [see/eat]～. You can see [eat] ～.などの表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて、尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。 ・ 例文を参考にして国名を書き写す技能を身に付けている。 | 行動観察 発言 自己評価 相互評価 振り返りシート |
| 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のおすすめの国のよさを友だちによく知ってもらうために、おすすめのアプローチプランを考えて、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。 | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のおすすめの国のよさを友だちによく知ってもらうために、おすすめのアプローチプランを考えて、名産品や場所・建物等やそのよさについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。 | |

5 単元指導計画 (別紙)

6 本時の指導(3 / 6 時間)

(1) 目標

行きたい国とその理由を尋ねたり答えたりできる。

【知識及び技能】

(2) 研究との関わり

本時では、世界遺産や有名な食べ物などの表現に親しませるとともに、行きたい国とその理由について伝える表現に慣れ親しませる。

行きたい国とその理由を伝え合う活動では、シェアリングタイムを通して難しかった表現の確認をしたり、友達の伝え方のよかった点やアドバイスなどを伝え合ったりする中で、「承認」や「貢献」を感じることができるようになる。また、振り返りでは、友達の活動の良かった点を紹介するなど、よさを認めたり認められたりする活動を通して、友達とのコミュニケーションへの意欲を高めたい。

(3) 展開

| 時 程 | 学習活動 | 指導者の活動 | ○指導上の留意点 ◎評価 ◇配慮を要する児童への手立て |
|------------|---|---|--|
| 導 入 8 分 | <p>【Warm Up】</p> <p>1 Greetings</p> <p>2 Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チャンツ <ul style="list-style-type: none"> ・ Where do you want to go? チャンツ ○キーワードゲーム <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の有名なもの | <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく挨拶をする ・ チャンツで楽しく発音し、十分に慣れさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ペアでの挨拶も取り入れ、和やかな雰囲気をつくる。 ○はっきりと発音するように声をかける。 |

| | | | |
|----------------------------------|--|--|--|
| | <p>3 Small Talk</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T) Where do you want to go? S) I want to go to (France). T) You want to go to (France)? S) Yes. / No. T) That's good. Now, let's talk to your partner. S1) Where do you want to go? S2) I want to go to (the U.S.A.). S1) You want to go to (the U.S.A)? S2) Yes. / No. S1) That's good.</p> </div> <p>4 Today's Goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>行きたい国とその理由をたずね合おう</p> </div> <p>○学習課題を確認する。</p> | <p>・行ってみたい国について尋ね合う。</p> <p>○これまでの活動とのつながりや今後の活動の流れについてふれる。</p> | <p>○行ってみたい国を尋ねる言い方の定着を図る。</p> <p>○エコーイングや感想を取り入れていることに気付かせ、児童同士のやり取りに生かすようにする。</p> <p>○これまでの活動との違いをつかませる。</p> |
| <p>展 開 3 2 分</p> | <p>【Main Activity】</p> <p>5 Let's Listen2</p> <p>○インタビューを聞いて、人と行きたい国を線で結ぶ。</p> <p>6 Activity</p> <p>○行きたい国とその理由を尋ね合う。</p> <p>○ペアで尋ね合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S1: Where do you want to go? S2: I want to go to the U.S.A.. S1: Why? S2: I want to see the Grand Canyon.</p> </div> <p>○シェアリングタイム</p> <p>○ペアを替えて尋ね合う。</p> <p>7 Let's Read&Write</p> <p>○ランキング4位の国のスペルを書き写す。</p> | <p>・聞き取ったことを確かめる。</p> <p>・デモンストレーションをして、尋ね方、答え方を確認する。</p> <p>・難しい表現や困ったことがないか確かめる。</p> <p>・モデルを示し、活動の良さを全体に広める。</p> <p>・「形」「位置」「まとまり」を意識することを確認する。</p> | <p>○聞く活動を通して、行きたい国とその理由を伝える表現に親しむようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎行きたい国を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>◇尋ね方や答え方を忘れた場合は、友達や先生に聞いても良いことを確認する。</p> <p>○助言したり、より良い活動につながるような活動をした児童を紹介する。 真</p> </div> <p>○国名の書き出しは大文字を使うことを確認し、大文字と小文字の形の違いに気を付けて書かせる。</p> |

| | | | |
|------------------|---|---|--|
| 終 末 5 分 | 【Reflection】 8 Reflection ○振り返りシートを使って自己評価する。 | <ul style="list-style-type: none"> • できるようになったことや友達の活動のよさなどを発表させる。 • よかった点を伝える。 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ○友達の活動の良かった点に目を向けている児童を紹介する。 承 </div> ○観点に沿って振り返らせ、達成感を味わわせる。 |
| | 9 Greetings | <ul style="list-style-type: none"> • 終わりの挨拶をする。 | ○次時への意欲をもたせる。 |

(4) 板書計画

| | | |
|--------------------|--|---|
| Greetings | Wednesday, May 25 | |
| Review | Today's Goal | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> |
| Small Talk | 行きたい国とその理由をたずね合おう | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 5px;"> → ← → ← </div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> |
| Today's Goal | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> |
| Activity | Let's Read & Write | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> |
| Let's Read & Write | Let's Read & Write | |
| Reflection | | |
| Greetings | | |